

【CL名】古川 治さん 【解答者】はくにゃん 【作成日】2024年 2月24日 【作成時間】45分

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

働きたいと思っているが、今まで経験がないITスキルについて、支援機関で資格位取るよう言われ困惑している。また、どうせ相談しても何も変わらないのではないか、と思いつつどうにかしたいと考えている。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがど
1行目：良かった点、2行目：悪かった点
えるかを記述せよ。

- (良) やってられない、という気持ちを抱え話をしたくない様子の相談者に対して、傾聴の姿勢を継続した点
(悪) 冒頭で相談者に語っていただいた言葉について、まんべんなく焦点を当てることができていない点

【設問3】あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 努力はしているつもりと言っているが、相談しても何もしてくれないと主体性を無くし、自身を客観視できていない。また、相談機関に対して不信感を露わにしていることから情報収集不足も考えられる。

②その根拠 努力はしたものの成果に結びつかない状況について、「やっていて馬鹿馬鹿しい」と投げやりな発言をしており、自身の目標を主体的に捉えられていない。また、相談機関の人間が偉そうという発言から、一方的に助言を受けただけで納得のいく情報提供のうえで主体的な意思決定がされていないと思われる。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

まずは、半年前にリストラ後、仕事が全然見つからない状況下で、まずは本日来ていただいたことを感謝し、半年間を労い、信頼関係構築に引き続き努める。そのうえで、誰に相談しても何もならない、と相談者が考えるに至るまでの状況について話していただけるよう丁寧に聞き取り、まずは話をさせていただくことに努める。そして努力してきたことや成果について共に確認し、承認したうえで、ご自身を客観視していただけるよう関わる。そのうえで就職に繋がる資格や能力開発に関する情報提供を行い、相談者の主体的な意思決定を促す。最終的には就労に向けて必要な資格取得等の活動を前向きに取り組んでいただけるよう支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。
(2023.11)キャリアコンサルタント試験 実技(論述) 解答用紙